

玉城町の特徴と課題のまとめ

	特徴	問題点・課題
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケートでは約7割は「子育てできる場所として魅力的」と回答。 子育て環境、子どもの健診、保育所での教育・保育、学校教育に関する住民の満足度は上昇。 他市町から子育て世代が転入。 女性の労働人口割合は県平均より高い。 保育所の一時保育が充実しているが、一方で子育て支援センター等の利用者が減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 合計特殊出生率は1.41と大きく低下し、県、全国平均と比べて低い。 妊婦に会う機会が少なく、産前産後のリスクアセスメントが不十分 転入者とマイ保健師等との接点が少ない。 度会郡で指導主事を配置しており、町単独の指導主事が必要。 学習支援員が不足。
文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 「たまき文化スポーツクラブ」で多様な文化・スポーツ事業を実施。 町内には多くの遺跡や文化財が存在。 外国人の割合は、県平均より低い、近隣市町平均よりも高い。 田丸城跡の石垣整備、玄甲舎等の歴史的資源の整備が進展。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術、生涯学習、スポーツの環境・機会についての満足度が低下。 活動参加者の高齢化が進展し、若い人の参加が少ない。 中央公民館・図書館のスペース不足。 屋内体育館の老朽化、耐震性に問題。 虐待、ハラスメント、差別等の人権問題が存在。
医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 健康教室や各種健診、病院・医療体制に関する住民の満足度は上昇。 町立病院が地域医療の核として健全な経営を維持。 要支援・要介護認定者割合は県平均よりも低い。 高齢者居場所として介護予防サロン、居場所「協」及び第2の居場所「ロン」を開設。 各地区で「元気づくり会」の活動が29地区で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民による福祉活動、高齢者の介護・福祉サービス、障がい者の福祉サービスの住民の満足度は低下。 町立病院における地域包括ケア病床の拡充が必要。 サロン活動等活動の担い手の高齢化が進展。 障がい者の地域生活支援サービス、移動支援、相談体制の確保が必要。
安全	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策の取組に関する住民満足度は上昇。 交通事故、犯罪認知件数は県平均・近隣市町より少ない。 交通安全、防犯対策の満足度は上昇。 警察等の関係機関と連携して、見守りや自主パトロール活動を展開。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急対策に関する住民の満足度は低下。 浸水被害が発生した外城田川の治水対策の充実が必要。 消防団員の不足の解消が必要。 各自治区での自主防災組織への設立が必要。
産業	<ul style="list-style-type: none"> 人口当たり農業産出額及び製造品出荷額等は県平均、近隣市町よりも高い。 人口当たり商業年間商品販売額、小売販売面積は県平均よりは低い、近隣市町より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手不足のため、新規就農者の確保が必要。 農業者と商工業者との連携による地域ブランドの育成が必要。 観光まちづくり協会は人材不足により活動が停滞。 観光推進に向けた人材と体制が必要。
都市基盤・環境	<ul style="list-style-type: none"> 人口当たりの生活系ごみの排出量は県平均、近隣市町平均よりも少ない。 公共下水道普及率は県平均、近隣市町平均より高い。 元気バスや鉄道の交通対策の住民の満足度は上昇。 人口当たりの都市公園面積は、県平均よりも少ないが、近隣市町平均よりも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 処理場に持ち込まれるごみは増加。 災害時に備えた水道施設の整備が必要。 元気バスの利用者数が減少しており、利用者を増やす対策が必要。 公園・広場に関する住民の満足度は低下。子育て世代は子どもが遊べる公園を要望。
行財政・自治	<ul style="list-style-type: none"> 財政力指数、経常収支比率は県平均、近隣都市よりも水準が高く、健全な財政運営を実現。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治の活動の住民満足度は低下。 5年前と比較すると行政への依存度が高くなっている。 地域の自治活動への参加意向がある人と無い人とは、ほぼ同じ割合。 「広報たまき」を見ない若い人が多い。広報紙以外の情報手段の検討が必要。

次期計画に向けた主要課題

➔	<p>■子どもの成長を育む環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てしやすい町と評価されている魅力をさらに高めるために、低い出生率を上昇させるための妊婦及び出産後の支援、子育てと仕事との両立支援の充実が必要。 子どもの個性や能力を育む教育の充実、地域との連携による子どもの豊かな体験と学び場の充実など、子どもの成長に応じた支援を充実し、子どもの健やかな成長を育む環境づくりが必要。 地域とのつながりが少ない子育て世代の転入者に対する情報を把握し、孤立させない対策が必要。
➔	<p>■住民の生きがいくりと交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化している文化・芸術、生涯学習、スポーツ施設の計画的な更新・維持管理による活動しやすい環境の確保が必要。 多世代が参加する事業企画の充実、「たまき文化スポーツクラブ」の事業の強化など、多世代の住民同士の活発な交流が生まれる環境の充実が必要。 地域の遺跡・文化財を活用した学習機会を充実し、地域への愛着を育むことが必要。 住民一人ひとりの人権に対する理解を深め、人権意識を高めることが必要。
➔	<p>■安心な暮らしを支える助け合いの仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診・指導体制や元気づくり事業の充実等による健康づくりが必要。 高齢者・障がい者が地域でいつまでも安心して生活できるように、「医療」「介護」「予防」「生活支援」のサービスを連携して提供する地域における支え合い・助け合いの仕組みの構築が必要。 障がい者の自立を促進するために、生活支援サービス、就労機会、相談体制等の充実が必要。
➔	<p>■安全な生活環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 集中豪雨や地震等の自然災害に備えて、治水対策、自主防災活動、防災意識の啓発等、自助・共助・公助の取組を推進し、地域の防災力の強化が必要。そのために、自主防災組織の組織化が必要。 自主パトロール活動等交通安全、防犯活動の推進が必要。
➔	<p>■産業の持続的発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新技術導入による生産性の向上、地域産品のPR・販路拡大、後継者の確保等による地域産業の付加価値と持続性を高めることが必要。 地域の産業・文化資源を活用した地域の魅力創出とPRの推進、観光推進体制の構築が必要。 雇用の拡大の推進。
➔	<p>■便利で快適な生活環境の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化、食品ロス対策の取組が必要。 上下水道施設の計画的・効率的な更新と維持管理により、安定的な運営の確保が必要。 外出を促進する事業との連携など、元気バスの利便性の向上策の検討が必要。 公園整備・充実により、子どもの遊び場環境の整備、快適な生活環境の維持・向上が必要。
➔	<p>■自立性と効率性の高い地域運営の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の多様な団体・グループが連携・協力して活動を展開するとともに、活動への新たな参加者を発掘することが必要。 メール、SNS等の多様なメディアを活用した情報提供の充実が必要。 安定的な財政運営と公共施設の適正な更新・維持管理、新技術等を活用した業務の効率化・サービスの向上が必要。